

びわこ地球市民の森



Vol.77

# 森づくりサポーターニュース

令和3年(2021年)6月30日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312

メールアドレス biwako@morigukuri.info URL http://www.morigukuri.info

## 誕生から20年の森を考える!(1)

コロナ禍の影響で、「びわこ地球市民の森」を訪れる子ども連れの若い家族の行動が、最近変化しています。従来は、森づくりセンターのある「里の森ゾーン」の遊具とその周りの原っぱに集中し、南の「出会いのゾーン」、北の「ふれあいゾーン」と「つどいのゾーン」では、少数でした。

ところが最近、春と秋の天気の良い休日では、遊具のまわりは、あいかわらず混んでいるものの、「出会いのゾーン」の円形原っぱや「ふれあいゾーン」と「つどいのゾーン」の原っぱにもテントが立ち、多くの子ども連れの若い家族の姿がみられます。

原っぱのうえを走ったり、そこに生えているシロツメクサ（クローバー）で遊んだり、近くの水辺や森に行ったりして、けっこう長い時間過ごされています。皆、密を避ける行動をしつつ、緑いっぱいの空間の心地よさを体感されているように感じます。

森づくりに関わるボランティアは、シニアの方が主ですが、その数は年々増え、平日は、ほぼ毎日どこかのグループが活動され、企業や団体の方も社会貢献活動の一環として、作業に来られます。このため、間伐、枝落としなど森の手入れが進み、森のなかはどこも見通しが良く、公園全体が安全と感じられるせいもあり、園内の散歩者が増え、園児や障害者施設の方の姿もよく見かけます。

「びわこ地球市民の森」が誕生して20年、大きく育った木々は、10mを越えました。緑につつまれた細長い公園のあちらこちらで、幅広い世代の来園者が、それぞれの目的で楽しめている光景を目にすると、「つどいのゾーン」に50cmの苗木が植栽された誕生当時の殺風景な公園の姿を知る者にとっては、まるで夢をみているようです。



休日の「里の森ゾーン」



休日の「出会いのゾーン」

# 「森づくりセンター」新しい活動団体の紹介

毎月活動のグループが、3団体増え19団体となりました。

令和3年1月より「守山をキレイにし隊」の皆さん方が、第4日曜の朝、公園や周辺道路の清掃活動をしてくださっています。20名から40名の参加があります。



朝早くから、ありがとうございます

また令和3年4月よりレイカディア大学草津校園芸学科41期生の、「よいこの会（園芸A）」と「エゴノキ会41B（園芸B）」の皆さん方が、森づくり活動に参加されています。

楽しみながら、自然を感じながら、無理なく参加してください。

## 「よいこの会」の皆さん



## 「エゴノキ会41B」の皆さん



森の手入れ（育樹活動）と合わせて、一般来園者が森と関わるような仕掛けづくりもしていきたいと考えています。いろいろとご協力・ご提案をよろしくお願いします。

## 情報

### 「森づくりサポーターニュース」20年の歴史

#### 森づくりセンター展示コーナーで紹介！

今年は、森が誕生して20年となります。

「サポーターニュース」は初刊から現在まで76号が発刊されました。懐かしいイベントや話題、記事など見所一杯です。是非お越しいただきご覧ください。



# 令和3年度びわこ地球市民の森・森づくり講座

県営都市公園「びわこ地球市民の森」では、「森を学ぶ」、「森を調べる」そして「森で楽しむ」ことを目的とした「森づくり講座」を開催します。この講座で身近な自然と森づくり活動について学び、体験して、森の育成や環境のために自分ができることを見つめましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

- 1 会 場 びわこ地球市民の森「森づくりセンター」  
〒524-0102 守山市水保町2727  
2 開 設 日 時 令和3年9月～4年3月の原則として毎第3土曜日 午前9時から12時まで  
3 講座の主な内容 (講師等の都合で講座内容の変更がある場合があります)

開講日	講 座 の 内 容	開講日	講 座 の 内 容
(1) 令和3年 9月 18日(土)	開講式 (講話) 森づくりの目的と今日までの経過、そして今後の維持・管理の進め方 (観察) 9月の自然観察と園内の案内	(5) 令和4年 1月 22日(土)	(講話) びわこ地球市民の森をビオトープとして再生しよう (講話と実習) キノコの生活の特徴とシイタケの菌打ち
(2) 10月 16日(土)	(講話) 地球規模の環境問題の現状と滋賀県の環境政策の方向性について (調査) 植栽地の管理と森の土壤	(6) 2月 19日(土)	(講話) 生物多様性危機の現状と森の外来生物について (講話と観察) 生きものの冬越しを観察する
(3) 11月 20日(土)	(講話) 森の植樹・河畔林と、巧妙な植物の繁殖方法や種子の広がり方を学ぶ (観察) 秋の自然観察（いろいろな種子を観察し、その広がり方を調べる）	(7) 3月 19日(土)	(講話) 地球市民として「森づくり」に参加しよう (グループ討議) これからの森の利・活用について考える 閉講式：修了証の授与
(4) 12月 18日(土)	(講話) 森のしくみとドングリをつける樹木の特徴 (実習) 間伐材やドングリ、落ち葉等でクラフトを楽しむ		
備 考	◎ 森づくりサポーター活動（年4回）では、主に植樹地の間伐、枝打ち、つる切り作業等をします。実施日は、次のとおりです。①第1回：5月16日（日）（中止）、②第2回：7月24日（土）、③第3回：10月31日（日）、④第4回：4年3月5日（土）（第3回・第4回は、自由参加です。）（時間：9時30分～12時30分）		

（募集人員、受講料、申し込み方法等については、「森づくりセンター」までお問い合わせください。）

## 令和2年度の森づくり講座の様子



室内講義



秋の自然観察



クラフトづくり



シイタケ菌打ち



冬の自然観察



グループ討議



## びわこ地球市民の森で 自然体験キャンプ(春)

令和3年3月に2つ  
の自然体験キャンプ  
を実施しました。

「森のようちえん・ファミリー」は、竹を使った棒巻きパンを炭火で焼き、シチューと焼きリンゴを作り昼食にしました。ひらっち（平塚先生）指導、森のようちえん恒例の間伐体験とシイタケ菌打ちなど、森の利活用を学びながら家族でディキャンプを楽しみました。

小学生対象の宿泊型「森のハンターキャンプ」は、地図と写真・指示書を使い、「カブトムシの幼虫を探そう!」「ネコジャラシを見つけよう!」など、びわこ地球市民の森の自然と触れ合い、グループで取り組んで課題解決をするプログラムを楽しみました。「包丁で野菜切り」、「ノコギリで丸太切り」などのチャレンジプログラムにみんなで取り組み、まつぼっくりや自然素材を力セットコンロと鍋を使って簡単に炭が作れる「化粧炭作り体験」も行いました。



棒巻きパン作り



シイタケ菌打ち



キャンプが始まるぞ!



カブトムシの幼虫見つけた~!



みんなで協力して丸太切り!



化粧炭作り体験

新型コロナウイルス感染防止を講じ、安全安心な環境で多くの子ども達に自然体験の場を提供できるよう、これからも精進します。

### お知らせ

#### 第2回森づくりサポーター活動のご案内

暑い時期ですが、みなさんのお越しをお待ちしています。

開催期日 令和3年7月24日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森(里の森ゾーン)

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



※なお、新型コロナウイルスの影響で、活動内容を変更したり中止になる場合がありますのでご了承ください。

### 編集後記

5月に予定していました「森のつどい」は、新型コロナウイルスの影響で2年連続開催できませんでしたが、10月31日(日)に延期となりました。

今度こそ秋晴れのもとで皆さんのが集い、活気あふれる「森のつどい」が開催されることを期待しています。

### 森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100 ~ 200m
植樹面積	80,808 m <sup>2</sup>
植樹期間	H13 ~ H25
植樹活動参加者数	44,994 人
植樹本数	160,967 本
森への利用者数 (R2)	226,600 人
森づくり活動参加者数 (R2)	2,744 人
うち育樹活動参加者数 (R2)	2,152 人